

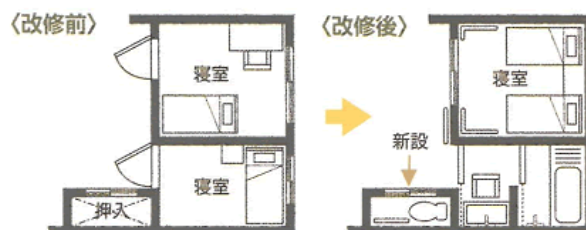
お年寄りにとってトイレ・浴室が近くにあることはとってもありがたいことです。手が痛かったり、何枚も重ね着をしていて下着が脱ぎにくい…。言い出しにくい悩みは誰にでもあるものです。行くのが億劫にならない手軽なトイレで自立してもらいましょう。

各室間の温度差が大きいと、血圧が急激に変化し心臓に負担がかかり(ヒートショック)、心筋梗塞・脳溢血などを引き起こし介護が必要になったりします。こうしたリフォームはそうしたトラブルを予防する意義もあります。また、介護が必要になってしまっても高齢者寝室がトイレ・浴室が近いことで移動や介助の負担がぐっと軽くなります。



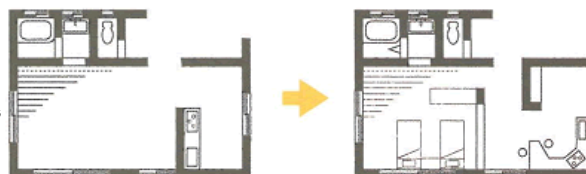
トイレを高齢者寝室と同一階に新たに設置する…

高齢者寝室の近くにバリアフリー性能を有したトイレを設置し、動線の短縮を行う工事です。寝室からトイレが離れているなど、廊下などの動線の改善が難しい場合に有効です。



高齢者寝室をトイレ・浴室と同一階に設置する…

高齢者寝室がトイレ・浴室と同一階にあることで移動や介助の負担がぐっと軽くなります。リビングの一部や使用していない和室などを改修する事例が多くあります。基本的に屋外へ出やすい1階に設置することが、それ以外の階に設置する場合、階段などの移動経路もふくめてバリアフリー化する必要があります。



トイレやシャワールームを就寝スペースに隣接して設置する…

押し入れなどを利用してトイレやシャワー浴室を設けると 比較的簡単な工事ですみます。

事例写真



高齢者寝室も押し入れをトイレに変更

